



令和5年度 羽生田小 学校経営全体構想図

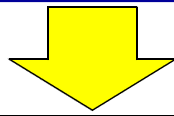
【学校教育目標】

豊かに学び、共に未来のふるさとを拓く「はにしの子」の育成

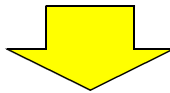
- <徳> みんなと仲よくできる子ども
- <知> よく考えて勉強する子ども
- <体> 心も体も強い子ども

【学校経営のスローガン】

- 1 「はじめに子どもありき」
- 2 「みんなが一つに」
- 3 「小規模校だからこそできる教育を」



くめざす学校像>	くめざす子ども像>	くめざす教職員像>
<p>夢をもち社会に貢献する意欲を育てる学校</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもも職員もしっかりと「聴く話す」姿勢を身につけた学校 2 豊かな表現力を育成し、伝え合う力を伸ばす学校 3 気持ちの伝わる「あいさつ・返事」ができる学校 4 一人ひとりに「確かな学力」を身につけられる学校 5 今日楽しかった、明日も楽しみになる学校 	<p>場に応じ最適な言動が取れる子ども</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人の気持ち分かり、思いやりがある子ども 2 感謝の心を持ち、明るく礼儀正しい子ども 3 お互いを認め合い、協力する子ども 4 各学年に応じた基礎基本を身につけ、自分らしく表現する子ども 5 意欲をもって学習に取り組む子ども 6 目標をもち、最後まで頑張る子ども 7 健康で安全に生活できる子ども 	<p>子供の未来を考えて指導する教職員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの思いを理解し、一人ひとりのよさや意欲を引き出す職員 2 笑顔と活力にあふれ、温かさや厳しさをもち職員 3 家庭・地域から信頼される職員 4 助け合い、協働する職員 5 夢や目標をもって前向きに行動する職員 6 授業力の向上を目指す職員



【学校経営基本方針】

- 1 子ども一人ひとりの特長を伸ばす教育を進める。
- 2 豊かな感受性と主体性を育む活動を推進する。
- 3 子どもがよくわかり、主体的・対話的で深い学びを实践する。
- 4 地域・保護者との連携協力を深め、信頼される学校づくりを推進する。

学校経営方針1 「子ども一人ひとりの特長を伸ばす教育を進める」

- (1) 子どもの気持ちを理解し、個性を尊重し一人ひとりに応じた丁寧な指導を行う。
- (2) 十分な体験活動と活躍の場を設定し、子どもに達成感や自己有用感を持たせる教育を推進する。
- (3) 自分と相手を大切に育てる人権教育を推進する。
- (4) インクルーシブの視点で授業構築を進める。

学校経営方針3 「子どもがよくわかり、主体的・対話的で深い学びを实践する」

- (1) ICTの効果的な活用を工夫し、日常化することで「わかる・できる授業」を展開する。
- (2) 少人数学習指導の利点を生かし、基礎・基本の徹底を図るとともに、個に応じた課題を準備する。
- (3) 対話的な学習を中心にして、表現力の習得を図る。
- (4) 基本的な学習習慣の定着を図る。
(学習規律、聴き方・話し方、家庭学習)
- (5) 読書習慣の確立を図る。

学校経営方針2 「豊かな感受性と主体性を育む活動を推進する」

- (1) 子供が中心となって計画し、実行できる異年齢集団活動を充実させる。(わんぱく班活動・共遊)
- (2) 一人一人が達成感を味わえる全校合奏を充実させる。
- (3) 論語から学ぶ「心の教育」を实践する。
- (4) 価値項目を明確にし、質の高い道徳の授業を展開する。
- (5) 子供の意見を反映させた体験活動を充実させる。
- (6) 気持ちの伝わる「あいさつ・返事」ができるよう指導する。
- (7) 基本的な生活習慣の定着を図る。
(早寝、早起き、しっかり朝ご飯)
- (8) 目標を明確化して、体力づくりの実践に取り組む。
(鉄棒・水泳・持久走・縄跳び)
- (9) 食事の楽しさや喜びを感じることが出来る食育を充実させる。

学校経営方針の具体策

学校経営方針4 「地域・保護者との連携協力を深め、信頼される学校づくりを推進する」

- (1) 地域・保護者・学校の連携を密にし、三者で協働して児童の育成を推進する。
- (2) 家庭との連携を図り、子どもたちの自己肯定感や有用感を高め、自信をもたせる教育を推進する。
- (3) 各種ボランティアによる諸教育活動を推進する。
- (4) 学校運営協議会を充実させ、意見を学校運営に積極的に反映させていく。